

希学園 第413回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第413回公開テスト 小4算数 解説動画(2026年10月11日実施)	https://vimeo.com/1234640946/ce263b274b

1

(1)	1 1 1 0	(2)	4 1 2	(3)	3 6 8	(4)	5 2 3 6
(5)	1 0 1 7 5	(6)	5 1 4 5	(7)	3 0 2	(8)	2 4 5
(9)	$\frac{14}{53}$	(10)	㊦ 1 (L)	㊧ 5 7 5 (mL)	(11)	3 1 5 (m)	
(12)	1 3 (人)	(13)	3 0 (個)	(10)完答)			

2

(1)	1 2	(2)	3 8 番目	(3)	2 0 0
-----	-----	-----	--------	-----	-------

3

(1)	9 個分	(2)	1 2 個分	(3)	1 0 個分
-----	------	-----	--------	-----	--------

4

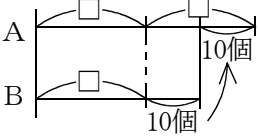
(1)	6 9 0 円	(2)	1 時間 5 0 分	(3)	2 時間 4 0 分
-----	---------	-----	------------	-----	------------

5

(1)	6 通り	(2)	1 4 通り	(3)	7 2 通り
-----	------	-----	--------	-----	--------

(配点) 各4点×25

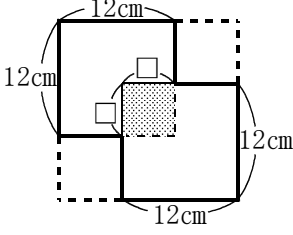
1

- (7) $440 - \square + 81 = 219$
 $440 - \square = 219 - 81 = 138$
 $\square = 440 - 138 = \underline{302}$
- (8) $\square + 89 - 67 = 267$
 $\square = 267 + 67 - 89 = \underline{245}$
- (10) $4 \text{ L } 75 \text{ mL} - \square \text{ L } \square \text{ mL} = 2 \text{ L } 5 \text{ dL}$
 $\square \text{ L } \square \text{ mL} = 4075 \text{ mL} - 2500 \text{ mL}$
 $= 1575 \text{ mL} = \underline{1 \text{ L } 575 \text{ mL}}$
- (11) $5 \text{ km } 95 \text{ m} + \square \text{ m} - 609 \text{ m} = 4 \text{ km } 801 \text{ m}$
 $5095 \text{ m} + \square \text{ m} = 4801 \text{ m} + 609 \text{ m} = 5410 \text{ m}$
 $\square \text{ m} = 5410 \text{ m} - 5095 \text{ m} = \underline{315 \text{ m}}$
- (12) 表に問題文の条件を書きこむ。
①が②より6人少ないので、
①×2=30-6=24(人)
①=24÷2=12(人)
よって、女の子の人数は、
12+1=13(人)
- | | 男 | 女 | 合計 |
|----|---|---|----|
| ○ | ② | ① | 30 |
| × | 9 | 1 | 10 |
| 合計 | | | 40 |
- (13) 線分図にまとめると右の図のようになる。
 $\square = 10 + 10 = 20$ (個)
よって、はじめの個数は、
 $20 + 10 = \underline{30}$ (個)
- 

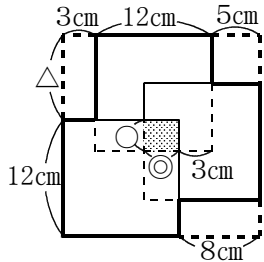
2

- (1) 4個1セットで考える。
 $45 \div 4 = 11$ (セット)あまり1(個)
12セット目の1番目 → 12
- (2) 2個目の10は10セット目の2番目。
 $4 \times 9 + 2 = \underline{38}$ (番目)
- (3) 1セット目の和は 1×4 、2セット目の和は 2×4 、3セット目の和は 3×4 、…となっている。
9セット目までの和は、
 $1 \times 4 + 2 \times 4 + \dots + 9 \times 4 = \underline{45 \times 4 = 180}$
1~9の和
よって、 $180 + 10 + 10 = \underline{200}$

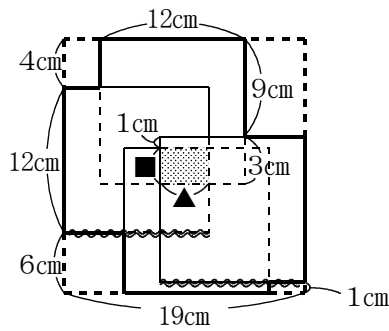
3

- (1) 右の図のように正方形にして考える。
まわりの長さが84cmより、
1辺の長さは、 $84 \div 4 = 21$ (cm)
 $12 + 12 - \square = 21$ (cm)
 $\square = 3$ (cm)
よって、あみ目部分の広さは、
 $3 \times 3 = \underline{9}$ (個分)
- 

- (2) (1)と同様に考えると、
たてと横の長さの和は、
 $82 \div 2 = 41$ (cm)
 $\triangle + 12 + 3 + 12 + 5 = 41$ (cm)
 $\triangle = 9$ (cm)
 $\bigcirc = 12 - 9 = 3$ (cm)
 $\odot = 12 - 3 - 5 = 4$ (cm)
よって、あみ目部分の広さは、
 $3 \times 4 = \underline{12}$ (個分)



- (3) (1)と同様に考えると、
たてと横の長さの和は、
 $82 \div 2 = 41$ (cm)
たての長さは、
 $4 + 12 + 6 = 22$ (cm)
横の長さは、
 $41 - 22 = 19$ (cm)
分かる長さを書きこむ
と右の図のようになる。
 $\blacksquare = 3 - 1 = 2$ (cm)
また、図の波線部分に注目すると、
 $12 + 12 - \blacktriangle = 19$ (cm) → $\blacktriangle = 24 - 19 = 5$ (cm)
よって、あみ目部分の広さは、 $2 \times 5 = \underline{10}$ (個分)



4

- (1) 1時間20分=80分
 $80 = 30 + 10 \times 5$ より、
 $290 + 80 \times 5 = \underline{690}$ (円)
- (2) 表にまとめる。
- | 分 | 30 | 40 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 | 110 |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| A | 120 | 220 | 320 | 420 | 520 | 620 | 720 | 820 | 920 |
| B | 200 | 290 | 380 | 470 | 560 | 650 | 740 | 830 | 920 |
| 差 | 80 | 70 | 60 | 50 | 40 | 30 | 20 | 10 | 0 |
- 110分で同じ金額になる。→ 1時間50分

- (3) (2)の表より、AとBの金額のちがいを考える。
- | 分 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 |
|---|------|------|------|------|------|
| A | 1020 | 1120 | 1220 | 1320 | 1420 |
| B | 1010 | 1100 | 1190 | 1280 | 1370 |
| 差 | 10 | 20 | 30 | 40 | 50 |

AとBの金額の差が50円になるのは、60分と160分。
このときのCの金額は、
 $60 = 30 + 10 \times 3$ より、 $290 + 80 \times 3 = 530$ (円)で、
Bとのちがいは、 $530 - 470 = 60$ (円)なので不適。
 $160 = 30 + 10 \times 13$ より、 $290 + 80 \times 13 = 1330$ (円)で、
Bとのちがいは、 $1370 - 1330 = 40$ (円)で適する。
よって、借りた時間は160分。 → 2時間40分

5

- (1) 3色のブロックが見えるのは、前から順に、高さが1 cm, 2 cm, 3 cmのブロックを置くとき。
このときのブロックの色の順を考えると、
(赤, 白, 青), (赤, 青, 白), (白, 赤, 青),
(白, 青, 赤), (青, 赤, 白), (青, 白, 赤)の6通り。
- (2) 一番前が高さ1 cmの赤色のブロックのとき、
2色のブロックが見えるのは、高さが前から順に、
(1, 1, 2), (1, 1, 3), (1, 2, 1),
(1, 2, 2), (1, 3, 1), (1, 3, 2),
(1, 3, 3)の7種類。
また、ブロックの色の順を考えると、それぞれ
(赤, 白, 青), (赤, 青, 白)の2通りずつ。
よって、 $7 \times 2 = 14$ (通り)
- (3) 一番前が高さ1 cmのブロックのとき、(2)の赤以外に
白と青の場合もあるので、 $14 \times 3 = 42$ (通り)
一番前が高さ2 cmのブロックのとき、
(2, 1, 3), (2, 2, 3), (2, 3, 1),
(2, 3, 2), (2, 3, 3)の5種類。
ブロックの色の順は(1)よりそれぞれ6通りずつあるので、
 $5 \times 6 = 30$ (通り)
一番前が高さ3 cmのブロックのときは1色しか見えない。
よって、 $42 + 30 = 72$ (通り)

配点 ; 各4点 $\times$ 2 5